



SOKA University Discover your potential

2027年度 (令和9年度)

創価大学法科大学院
(法務研究科法務専攻)

入学試験要項

創価大学 法科大学院事務室

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

Tel 042-691-9476 Fax 042-691-8507

<https://www.soka.ac.jp/grad-law/>

目 次

①	アドミッション・ポリシー	1
②	入学試験の各日程、試験区分と募集人員	1
③	各入学試験の概要	2
	(1) L 日程 ① (2) L 日程 ② (3) A 日程 (4) B 日程	
④	出願資格	5
⑤	障害等による受験上の合理的配慮申請	7
⑥	試験内容および配点	9
	(1) L 日程 ① (2) L 日程 ② (3) A 日程 (4) B 日程	
	(5) 合否の判定について (6) 受験の際の注意点	
⑦	出願方法	15
⑧	検 定 料	15
⑨	提出書類	16
⑩	出願上の注意点	17
⑪	合格発表	18
⑫	追加合格	18
⑬	入学手続	19
⑭	学費等納付金	20
⑮	奨 学 金	20
⑯	学 生 寮	22
⑰	合否照会システム	23

個人情報保護について

出願にあたってお知らせいただきました氏名、住所、電話番号等の個人情報および入学試験に関する情報は、入学試験、入学手続および入学後の本人認証、進路等に使用します。また、これらの情報は、本学の個人情報保護規程に基づいて厳重に管理いたします。

創価大学法科大学院（法務研究科法務専攻）

入学試験要項

1 アドミッション・ポリシー

創価大学法科大学院では、人間力・国際力・法律力を有する法曹を養成するため、次の5つを基本的なアドミッションポリシーとしています。

- (1) 法科大学院における法曹教育に対応できる、読解力・理解力・分析力・論理的思考力・表現力などの基礎学力を十分に備えていること
- (2) 法曹職に対する強い意欲をもっていること
- (3) 法律学の学修に謙虚に取り組み、努力を継続できる粘り強さを備えていること
- (4) 生命や人権の大切さを理解し、他者への思いやりをもつ豊かな人間性を備えていること
- (5) 世界平和に貢献する意欲と国際的な視野や発想力を持ち、その実現にふさわしい語学力を有していること

これら5つのアドミッションポリシーをもとに、具体的には以下の資質・特色を備えている学生を選考する入学試験を実施しています。

- ・法学既修者においては、公法、民事法、刑事法等の基本的な法律学の基礎を十分に修得している者、もしくはこれに準ずる知識と能力を有している者
- ・学部設置された法曹コース（連携法曹基礎課程）において優秀な成績を修めた者であって、公法、民事法、刑事法等の基本的な法律学の基礎を十分に修得し、法科大学院における学修に意欲を有する者
- ・法学未修者においては、自然科学、人文科学等の、法律学以外の分野について、優れた知識と能力を有し、もしくは特色のある研究をしている者
- ・法科大学院での学修や法曹資格取得後に活かすことのできる豊かな社会経験・活動経験を有している者

2 入学試験の各日程、試験区分と募集人員

試験日程	試験区分	募集人員	入学定員
L 日程①	GLP 一貫型特別入学試験（2年）	8名程度	28名
L 日程②	GLP・法曹コース開放型特別入学試験（2年）	5名程度	
A 日程	法学未修者入学試験（3年）	8名程度	
	社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験（3年）	2名程度	
	法学既修者入学試験（2年）	5名程度	
B 日程	法学未修者入学試験（3年）	若干名	
	社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験（3年）	若干名	
	法学既修者入学試験（2年）	若干名	

※（ ）内は修業年限

3 各入学試験の概要

(1) L 日程①

試験区分(コース)	出願期間	試験日	合格発表	第一次入学手続
GLP 一貫型特別入学試験	2026年 6月8日(月) } 6月22日(月) ※消印有効	7月4日(土)	7月8日(水) 10:00	7月15日(水) } 7月24日(金)

GLP一貫型特別入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、本学法学部グローバル・ロイヤーズ・プログラム（GLP）において優秀な成績を修めた者を対象に、基本的な法律学の知識を十分修得し、本法学部大学院における法曹教育に対応できる資質をもつ者を選抜することを目的としています。

〈L日程①「GLP一貫型特別入学試験」の合格者について〉

L 日程①「GLP一貫型特別入学試験」の合格者は、L 日程②「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」以降の入学試験を受験することはできません（受験対象者から除きます）。

(2) L 日程②

試験区分(コース)	出願期間	試験日	合格発表	第一次入学手続
GLP・法曹コース開放型特別入学試験	2026年 6月8日(月) } 6月29日(月) ※消印有効	7月11日(土)	7月22日(水) 10:00	7月29日(水) } 8月7日(金)

GLP・法曹コース開放型特別入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、法律科目試験、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、本学法学部グローバル・ロイヤーズ・プログラム（GLP）を修了する見込みの者、または、本学以外の大学の学部の法曹コース（連携法曹基礎課程）を修了する見込みの者を対象に、基本的な法律学の知識を十分修得し、本法学部大学院における法曹教育に対応できる資質をもつ者を選抜することを目的としています。

〈L日程②「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」の合格者について〉

L 日程②「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」の合格者は、A 日程以降の入学試験を受験することはできません（受験対象者から除きます）。

(3) A日程 ※法学未修者入学試験、社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験、法学既修者入学試験は、併願が可能です。

試験区分(コース)	出願期間	試験日	合格発表	第一次入学手続
法学未修者入学試験	2026年 7月6日(月) ┆ 8月17日(月) ※消印有効	9月13日(日)	9月24日(木) 10:00	9月30日(水) ┆ 10月16日(金)
社会人・非法学部・海外大学 出身者特別入学試験		9月12日(土) 9月13日(日)		
法学既修者入学試験				

法学未修者入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、小論文審査、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、本法科大学院における法曹教育に対応できる資質をもつ者を選抜することを目的としています。

社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、小論文審査、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、社会人については職業上・社会活動上の経験や実績を、非法学部出身者については法学以外の学問の学修・研究活動の経験や実績を、海外大学出身者については海外大学での学問の学修・研究活動の経験や実績をそれぞれ審査し、多様なバックグラウンドを併せもった者を選抜することを目的としています。

法学既修者入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、法律科目試験、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、基本的な法律学の知識を十分修得している者を選抜することを目的としています。

〈A日程合格者の入学コース選択について〉

A日程試験内の複数の試験区分で合格された方は、第1次入学手続期間内にいずれかの入学コースを選択していただきます。その際、選択した入学コースに付随する奨学金等の受給資格のみを取得することになります。

(4) B日程 ※法学未修者入学試験、社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験、法学既修者入学試験は、併願が可能です。

試験区分(コース)	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
法学未修者入学試験	2027年 1月6日(水) ┆ 1月20日(水) ※消印有効	2月7日(日)	2月16日(火) 10:00	2月24日(水) ┆ 3月3日(水)
社会人・非法学部・海外大学 出身者特別入学試験		2月6日(土) 2月7日(日)		
法学既修者入学試験				

法学未修者入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、小論文審査、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、本法科大学院における法曹教育に対応できる資質をもつ者を選抜することを目的としています。

社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、小論文審査、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、社会人については職業上・社会活動上の経験や実績を、非法学部出身者については法学以外の学問の学修・研究活動の経験や実績を、海外大学出身者については海外大学での学問の学修・研究活動の経験や実績をそれぞれ審査し、多様なバックグラウンドを併せもった者を選抜することを目的としています。

法学既修者入学試験

書類審査（自己推薦書、学業成績その他）、法律科目試験、面接審査の結果を総合的に評価して選抜します。この入試では、基本的な法律学の知識を十分修得している者を選抜することを目的としています。

〈A・B日程合格者の入学コース選択について〉

B日程試験内の複数の試験区分で合格された方、または、B日程「法学既修者入学試験」合格者でA日程「法学未修者入学試験」「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」も合格されている方は、入学手続期間内にいずれかの入学コースを選択していただきます。その際、選択した入学コースに付随する奨学金等の受給資格のみを取得することになります。

〈A日程「法学未修者入学試験」「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」合格者のB日程「法学既修者入学試験」受験について〉

A日程「法学未修者入学試験」「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」の合格者は、B日程「法学既修者入学試験」を受験することができます。この場合、B日程「法学既修者入学試験」に不合格であってもそれ以前の合格者としての資格は失いません。

4

出願資格

出願資格は、次のいずれかに該当する者。ただし、創価大学法科大学院修了生を除く。

- ① 大学を卒業した者または2027年3月末日までに卒業見込みの者。
- ② 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者。
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または2027年3月末日までに修了見込みの者。
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2027年3月末日までに修了見込みの者。
- ⑤ 日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2027年3月末日までに修了見込みの者。
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑧ 大学に3年以上在学または2027年3月末日までに3年以上在学する見込みの者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本法科大学院が認めた者。
- ⑨ 外国において学校教育における15年の課程を修了しまたは2027年3月末日までに修了する見込みがある者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本法科大学院が認めた者。
- ⑩ 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、その他の教育施設修了者等であって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本法科大学院が認めた者で、2027年4月1日までに22歳に達する者。
- ⑪ その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本法科大学院が認めた者。

〈出願資格認定申請〉

⑧～⑪の資格により出願を希望する者は、出願資格認定申請期間内に、「出願資格認定申請書」およびそれを証明する資料を提出して、資格審査を受けてください。本法科大学院で資格審査を行い（提出された資料だけでは判断が出来ない場合には追加資料の提出を求めるなどの審査を行うことがあります）、認定された場合は「出願資格認定書」を発行します。

出願資格認定申請期間 A 日程試験：2026年6月1日(月)～6月29日(月)
B 日程試験：2026年11月2日(月)～11月30日(月)

※消印有効

〈「GLP一貫型特別入学試験」の出願資格〉

前述の出願資格に加え、以下に該当する者とします。

創価大学法学部法律学科に2019年4月以降に入学し、法学部グローバル・ロイヤーズ・プログラム（GLP）を2027年3月末日までに修了する見込みがある者で、出願時の通算GPAが3.8以上である者。

〈「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」の出願資格〉

前述の出願資格に加え、以下に該当する者とします。

創価大学法学部法律学科に2019年4月以降に入学し、法学部グローバル・ロイヤーズ・プログラム（GLP）を2027年3月末日までに修了する見込みがある者。または、本学以外の大学の学部で2019年4月以降に入学し、同学部の法曹コース（連携法曹基礎課程）を2027年3月末日までに修了する見込みがある者。

〈「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」の出願資格〉

前述の出願資格に加え、以下のいずれかに該当する者とします。

- (1) 社会人：大学卒業後1年以上の社会経験を有する者。
- (2) 非法学部出身者：法学系学部以外の学部を卒業した者または2027年3月末日までに卒業見込みの者。
- (3) 海外大学出身者：海外大学を卒業した者または2027年3月末日までに卒業見込みの者。

〈再入学及び単位認定について〉

本法科大学院を中途退学した者を対象として、再入学を認める制度があります。また、他の法科大学院等で修得した科目の単位を、入学後に本法科大学院で修得したものと認定する制度があります。詳細は法科大学院事務室までお問い合わせください。

5 障害等による受験上の合理的配慮申請

創価大学では「創価大学障害学生支援ガイドライン」に基づき、本学法科大学院入試において、障害等のある志願者に対する情報提供並びに入試における公平・公正な機会の提供に努めています。障害等があり、本学法科大学院入試を受験するにあたって合理的配慮を必要とする者は、下記「申請にあたっての留意事項」をご確認の上、障害等による受験上の合理的配慮申請期間内に、本学所定の「入試における合理的配慮の申請書」及び医師の診断書等の必要書類を提出してください（提出された申請書等の内容により、追加の情報提供や面談〈オンライン含む〉の実施等をお願いする場合があります）。

受験上の合理的配慮の可否及びその内容が決定された際には、本学法科大学院より「入学試験の合理的配慮に関する回答書」を送付します。同回答書は各入試の出願期間前までに送付される予定です。「入学試験の合理的配慮に関する回答書」を受領後は、その内容を確認の上、本学法科大学院入学試験要項に基づき、各日程の入試の出願期間内に出願手続きを行ってください。

〈障害等による受験上の合理的配慮申請締切日〉

- L 日程①②試験：2026年5月7日（木）
- A 日程試験：2026年6月29日（月）
- B 日程試験：2026年11月30日（月）

※消印有効

〈障害等による受験上の合理的配慮申請の際の必要提出書類〉

- ・本学所定用紙「入試における合理的配慮の申請書」
- ・障害者手帳（所持者のみ。コピー可）
- ・医師の診断書（コピー可。医師による診断名、症状、配慮が必要とされる事項について、具体的に記入してもらうこと。）
- ・高校・大学等での個別指導計画（教育機関内において作成されている場合のみ提出）

なお、申請締切日までに必要提出書類全ての提出がされなかった場合、申請を受け付けかねます。

〈申請にあたっての留意事項〉

1. 本学法科大学院のディプロマポリシー（「人間力」・「国際力」・「法曹力」）に則り、本学法科大学院は、学生の能動的な学習への参加を促すためのアクティブ・ラーニング型授業（ソクラテスメソッドによる双方向多方向に及ぶディスカッション等）を積極的に実施しています。このため、原則として本学法科大学院の授業は、本学キャンパス内における対面形式で実施しています。
2. 入学者選抜における合理的配慮の内容は、合理的配慮申請を行う入学志願者一人一人の個別のニーズを踏まえ、建設的対話を通じて相互理解を図りつつ、提出された所定の申請書（添付書類の内容を含む）に基づいて柔軟に検討します。このため、提出された申請書等の内容によっては、追加の情報提供や面談（オンラインを含む）の実施等をお願いする場合があります。なお、希望する配慮事項にすべて対応できるとは限りません。特に、希望する配慮事項が、本学法科大学院入学者選抜の趣旨及び特性の本質的な変更や、他の受験生の試験環境の変更等に及ぶ場合には、本学法科大学院において対応が困難であると判断することがあります。

3. 本申請は入学者選抜における合理的配慮に係るもので、入学後に希望する合理的配慮の提供を約束するものではありません。入学後の修学（学内施設の使用等を含む）において支援を希望する場合は、本学所定の申請を改めて行う必要があります。入学手続完了後すぐに、原則として入学者本人が本学法科大学院事務室および本学の学習環境調整室に連絡してください。
4. 入学後の修学における合理的配慮は、入学者選抜における合理的配慮の内容と異なる場合があります。また、これまでの教育機関における学修と本学法科大学院での学修の性質が大きく異なることから、これまで受けた支援内容が、そのまま認められるわけではありません。特に、希望する合理的配慮の内容が、本学法科大学院の教育、授業の目的の特性の本質的な変更や、他の学生の学習環境の変更等に及ぶ場合には、本学法科大学院において対応が困難であると判断することがあります。
5. 以上についてご理解いただいた上で、申請者本人が事前に、入学後の修学について本学法科大学院事務室へ相談・確認した上で出願することを求めます。

6 試験内容および配点

- ※1 小論文審査は、試験時間60分で文章読解力を問う問題（配点：60点）と、試験時間45分で論理的思考力・表現力・構成力等を問う問題（配点：40点）を出題します。
- ※2 面接審査は、面接員2名で、志願者1人当たり15分から20分程度で実施します。

(1) L日程①

GLP—貫型特別入学試験		
書類審査	面接審査 ※2	合計
100	50	150

〈書類審査〉

書類審査は、法曹コース（連携法曹基礎課程）等における学業成績を中心に、提出された自己推薦書、任意に提出された能力等を証明する資料（学位取得、語学試験や各種資格試験の結果、その他志願者の能力を適確に判断するために参考となる資料、詳しくは16ページの任意提出書類の項目を参照）を総合的に考慮して行います。

〈面接審査〉

試験日時：2026年7月4日（土）13時00分～16時00分頃（1人15～20分程度）

集合時間：12時50分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：面接審査は、本学への進学を希望する意欲や動機、入学試験合格後から法科大学院修了までの学修計画や司法試験の在学中受験予定等学業に取り組む姿勢、司法試験合格後の進路や目指すべき法曹像に加えて、給付奨学金の受給対象としてふさわしい資質を有するか等を総合的に考慮して行います。

(2) L日程②

GLP・法曹コース開放型特別入学試験										
書類 審査	法律科目試験								面接 審査 ※2	合計
	公法系（100）		民事系（140）			刑事系（100）		計		
	憲法	行政法	民法	民事 訴訟法	商法	刑法	刑事 訴訟法			
40	60	40	60	40	40	60	40	340	50	150
	法律科目試験の合計点を60点満点に換算する。 ※小数点第2位の値は繰り上げる。									

〈書類審査〉

書類審査は、法曹コース（連携法曹基礎課程）等における学業成績を中心に、提出された自己推薦書、任意に提出された能力等を証明する資料（学位取得、語学試験や各種資格試験の結果、その他志願者の能力を適確に判断するために参考となる資料、詳しくは16ページの任意提出書類の項目を参照）を総合的に考慮して行います。

〈法律科目試験〉

試験日時：2026年7月11日（土）9時15分～16時50分

〔民事系（民法・民事訴訟法・商法）〕9時15分～12時00分

- ・民法 9時15分～10時15分（60分）
- ・民事訴訟法 10時35分～11時15分（40分）
- ・商法 11時20分～12時00分（40分）

〔公法系（憲法・行政法）〕13時00分～14時45分

- ・憲法 13時00分～14時00分（60分）
- ・行政法 14時05分～14時45分（40分）

〔刑事系（刑法・刑事訴訟法）〕15時05分～16時50分

- ・刑法 15時05分～16時05分（60分）
- ・刑事訴訟法 16時10分～16時50分（40分）

集合時間：8時50分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：法科大学院の1年次配当の法律基本科目（憲法・民法・刑法・行政法・民事訴訟法・商法〔会社法〕・刑事訴訟法）について、法曹コース（連携法曹基礎課程）で修得されるべき、基本的な法律学の知識・理解の有無を審査します。なお、原則として、入学試験実施日に施行されている法令に基づいて出題します。

出題方法：全科目について論述式の問題を出題します。なお、事例問題を中心として出題する場合や、基本的な概念や論点についての論述を求める出題を行う場合があります。

〈面接審査〉

試験日時：2026年7月11日（土）17時15分～18時30分頃（1人15～20分程度）

審査内容：面接審査は、本学への進学を希望する意欲や動機、入学試験合格後から法科大学院修了までの学修計画や司法試験の在学中受験予定等学業に取り組む姿勢、司法試験合格後の進路や目指すべき法曹像に加えて、給付奨学金の受給対象としてふさわしい資質を有するか等を総合的に考慮して行います。

(3) A日程

法学未修者入学試験

書類審査	小論文審査 ※1	面接審査 ※2	合計
50	100	50	200

社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験

書類審査	小論文審査 ※1	面接審査 ※2	合計
50	100	100	250

〈書類審査〉

書類審査は、提出された自己推薦書、学業成績、任意に提出された能力等を証明する資料（学位取得、語学試験や各種資格試験の結果、その他志願者の能力を適確に判断するために参考となる資料、詳しくは16ページの任意提出書類の項目を参照）を総合的に考慮して行います。社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験では、上記に加えて、社会経験等の実績又は法学以外の分野での学修・研究活動、あるいは、海外大学での学修・研究活動に関する状況も審査します。

〈小論文審査〉

試験日時：2026年9月13日（日）10時00分～11時00分（60分）、
11時05分～11時50分（45分）

集合時間：9時30分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：小論文審査は、法律学の知識等を問うものではなく、文章読解力や論理的思考力、表現力、構成力等を問う内容の問題を出題します。

〈面接審査〉

試験日時：2026年9月13日（日）13時00分～16時00分頃（1人15～20分程度）

審査内容：面接審査は、本学への進学を希望する意欲や動機、学業に取り組む姿勢等を審査する人物審査と、時事問題等を題材に論理的思考力・思考の柔軟性・コミュニケーション能力等を審査する能力審査を行います。社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験では、上記に加えて、社会経験等の実績又は法学以外の分野での学修・研究活動、あるいは、海外大学での学修・研究活動に関する状況も審査します。

法学既修者入学試験										
書類 審査	法律科目試験								面接 審査 ※2	合計
	憲法	民法	刑法	行政法	民事 訴訟法	商法	刑事 訴訟法	計		
50	60	60	60	40	40	40	40	340	50	440

〈書類審査〉

書類審査は、提出された自己推薦書、学業成績、任意に提出された能力等を証明する資料（学位取得、語学試験や各種資格試験の結果、その他志願者の能力を適確に判断するために参考となる資料、詳しくは16ページの任意提出書類の項目を参照）を総合的に考慮して行います。

〈法律科目試験〉

試験日時：2026年9月12日（土）9時30分～17時30分

- ・民法 9時30分～10時30分（60分）
- ・民事訴訟法 10時50分～11時30分（40分）
- ・商法 11時35分～12時15分（40分）
- ・憲法 13時30分～14時30分（60分）
- ・行政法 14時35分～15時15分（40分）
- ・刑法 15時45分～16時45分（60分）
- ・刑事訴訟法 16時50分～17時30分（40分）

集合時間：9時00分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：法科大学院の1年次配当の法律基本科目（憲法・民法・刑法・行政法・民事訴訟法・商法〔会社法〕・刑事訴訟法）について基本的な法律学の知識を十分に修得しているか否かを審査します。なお、原則として、入学試験実施日に施行されている法令に基づいて出題します。

出題方法：全科目について論述式の問題を出題します。なお、事例問題を中心として出題する場合や、基本的な概念や論点についての論述を求める出題を行う場合があります。

〈面接審査〉

試験日時：2026年9月13日（日）13時00分～16時00分頃（1人15～20分程度）

集合時間：12時50分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：面接審査は、本学への進学を希望する意欲や動機、学業に取り組む姿勢等を審査する人物審査と、時事問題等を題材に論理的思考力・思考の柔軟性・コミュニケーション能力等を審査する能力審査を行います。

(4) B日程

法学未修者入学試験			
書類審査	小論文審査 ※1	面接審査 ※2	合計
50	100	50	200

社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験			
書類審査	小論文審査 ※1	面接審査 ※2	合計
50	100	100	250

〈書類審査〉

書類審査は、提出された自己推薦書、学業成績、任意に提出された能力等を証明する資料（学位取得、語学試験や各種資格試験の結果、その他志願者の能力を適確に判断するために参考となる資料、詳しくは16ページの任意提出書類の項目を参照）を総合的に考慮して行います。社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験では、上記に加えて、社会経験等の実績又は法学以外の分野での学修・研究活動、あるいは、海外大学での学修・研究活動に関する状況も審査します。

〈小論文審査〉

試験日時：2027年2月7日（日）10時00分～11時00分（60分）、
11時05分～11時50分（45分）

集合時間：9時30分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：小論文審査は、法律学の知識等を問うものではなく、文章読解力や論理的思考力、表現力、構成力等を問う内容の問題を出題します。

〈面接審査〉

試験日時：2027年2月7日（日）13時00分～16時00分頃（1人15～20分程度）

審査内容：面接審査は、本学への進学を希望する意欲や動機、学業に取り組む姿勢等を審査する人物審査と、時事問題等を題材に論理的思考力・思考の柔軟性・コミュニケーション能力等を審査する能力審査を行います。社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験では、上記に加えて、社会経験等の実績又は法学以外の分野での学修・研究活動、あるいは、海外大学での学修・研究活動に関する状況も審査します。

法学既修者入学試験										
書類 審査	法律科目試験								面接 審査 ※2	合計
	憲法	民法	刑法	行政法	民事 訴訟法	商法	刑事 訴訟法	計		
50	60	60	60	40	40	40	40	340	50	440

〈書類審査〉

書類審査は、提出された自己推薦書、学業成績、任意に提出された能力等を証明する資料（学位取得、語学試験や各種資格試験の結果、その他志願者の能力を適確に判断するために参考となる資料、詳しくは16ページの任意提出書類の項目を参照）を総合的に考慮して行います。

〈法律科目試験〉

試験日時：2027年2月6日（土）9時30分～17時30分

- ・民法 9時30分～10時30分（60分）
- ・民事訴訟法 10時50分～11時30分（40分）
- ・商法 11時35分～12時15分（40分）
- ・憲法 13時30分～14時30分（60分）
- ・行政法 14時35分～15時15分（40分）
- ・刑法 15時45分～16時45分（60分）
- ・刑事訴訟法 16時50分～17時30分（40分）

集合時間：9時00分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：法科大学院の1年次配当の法律基本科目（憲法・民法・刑法・行政法・民事訴訟法・商法〔会社法〕・刑事訴訟法）について基本的な法律学の知識を十分に修得しているか否かを審査します。なお、原則として、入学試験実施日に施行されている法令に基づいて出題します。

出題方法：全科目について論述式の問題を出題します。なお、事例問題を中心として出題する場合や、基本的な概念や論点についての論述を求める出題を行う場合があります。

〈面接審査〉

試験日時：2027年2月7日（日）13時00分～16時00分頃（1人15～20分程度）

集合時間：12時50分

集合場所：創価大学本部棟

審査内容：面接審査は、本学への進学を希望する意欲や動機、学業に取り組む姿勢等を審査する人物審査と、時事問題等を題材に論理的思考力・思考の柔軟性・コミュニケーション能力等を審査する能力審査を行います。

(5) 合否の判定について

〈GLP一貫型特別入学試験の場合〉

L日程①の「GLP一貫型特別入学試験」は、各審査（書類、面接）の合計点が満点のおおむね6割以上を取得していることを基準として合否を判断します。

〈GLP・法曹コース開放型特別入学試験の場合〉

L日程②の「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」は、各審査（書類、法律科目試験、面接）の合計点が満点のおおむね6割以上を取得していること、並びに、法律科目試験の合計点が満点のおおむね6割以上を取得していることを基準として合否を判断します。ただし、公法系・民事系・刑事系の各系における得点が合格最低基準点を満たさない場合は不合格となることがあります。なお、各系の合格最低基準点は出題の難易度を考慮して決定します。

〈法学未修者試験の場合〉

A日程及びB日程の「法学未修者入学試験」、「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」は、各審査（書類、小論文、面接）の合計点が満点のおおむね6割以上を取得していることを基準として合否を判断します。ただし、小論文審査の得点が合格最低基準点に満たない場合は不合格となることがあります。なお、小論文審査の合格最低基準点は出題の難易度を考慮して決定します。

〈法学既修者試験の場合〉

A日程及びB日程の「法学既修者入学試験」は、各審査（書類、法律科目試験、面接）の合計点が満点のおおむね6割以上を取得していること、並びに、法律科目試験の合計点が満点のおおむね6割以上を取得していることを基準として合否を判断します。ただし、法律科目試験の各科目の得点が合格最低基準点を満たさない場合は不合格となることがあります。なお、各科目の合格最低基準点は出題の難易度を考慮して決定します。

(6) 受験の際の注意点

〈受験の際の注意点〉

- ・受験票を必ず持参してください。
- ・筆記用具は、黒のペンまたはHB以上の濃さの鉛筆を使用してください（シャープペンシルの場合はB以上の濃さのものの使用を推奨します）。
- ・試験教室には時計がない場合があるため、時計が必要な方は各自用意してください。
なお、携帯電話は試験中には電源を切るため、時計としての使用はできません。
- ・小論文、法律科目試験は、試験開始から30分までは入室を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。
また、面接審査は、集合時間に遅刻をした場合、受験資格を失うことがあります。
- ・試験当日は、六法を貸与します。

〈同日程試験における併願受験の場合〉

同じ日程の試験において、複数の試験区分を受験する場合、面接審査は1回のみ行います。「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」とその他の試験を併願する場合は、「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」としての面接審査の際に、併せて他の試験と共通の面接審査を実施します。

7 出願方法

市販の角形2号封筒を用意し、所定の表紙（ホームページよりダウンロード・印刷）に必要事項を記入して貼付し、所定の提出書類（16ページ参照）を入れ、書留郵便か、窓口で提出してください。 ※消印有効

〈出願場所〉

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
創価大学 法科大学院事務室入試係

〈窓口受付時間〉

平日 9:30～17:00
土曜日 9:30～12:00
ただし夏季・冬季休暇期間は月～金 9:30～12:00

8 検定料

期間内に所定の用紙（入試出願案内封筒に同封）を用いて銀行にて振り込んでください。下記の振込先情報をもとに、コンビニエンスストア等のATMにてお振り込みいただくことも可能です。恐れ入りますが、振込手数料は振込者様にてご負担ください。

【振込先情報】

銀行名：三菱UFJ銀行（0005）
支店名：八王子中央支店（226）
口座種別：普通
口座番号：2147984
口座名義：学校法人創価大学法科大学院入学検定料口
金額：33,000円

L日程①②試験・A日程試験・B日程試験

33,000円

〈検定料の免除制度について〉

複数の入試を併願した場合は、後の日程の入試の検定料を免除します。

※L①・L②・A・B日程でどの入試と併願しても、検定料は最大33,000円です。

（具体例）

- L日程①試験とL日程②試験を同時に出願する場合
⇒L日程②試験の検定料（33,000円）を免除します。
- A日程試験において不合格となり、B日程試験に出願の場合
⇒B日程試験の検定料（33,000円）を免除します。
- A日程試験において法学未修者入試に合格し、B日程試験において法学既修者入試に出願した場合
⇒B日程試験の検定料（33,000円）を免除します。

9

提出書類

必要提出書類	①	入学志願票	所定の用紙（ホームページよりダウンロード・A4片面印刷）。
	②	検定料振込証憑書類	領収書コピー（銀行振込時）・利用明細票コピー（コンビニ等のATM振込時）等、検定料振込の証憑書類を、志願票の所定欄に貼付。併願の場合は所定欄に入学試験名を記入すること。
	③	自己推薦書	【GLP一貫型特別入学試験】 所定の用紙（ホームページよりダウンロード・A4片面印刷）に、志望動機、大学における学業以外の実績等について自ら記載したもの。2,000字程度（パソコン出力を所定の用紙に貼付してもよい）。
			【法学未修者・法学既修者・GLP・法曹コース開放型特別入学試験】 所定の用紙（ホームページよりダウンロード・A4片面印刷）に、志望動機、大学における学業以外の実績、社会人としての活動実績等について自ら記載したもの。1,000字程度（パソコン出力を所定の用紙に貼付してもよい）。
			【社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験】 所定の用紙（ホームページよりダウンロード・A4片面印刷）に、職業上・社会活動上の経歴（社会人の場合）または法学以外の学問の学修・研究活動の概要（非法学部・海外大学出身者の場合）、および自己アピールについて記載したもの。自己アピールについては志望動機、法曹資格取得後のビジョン（上記経歴や学修等がどのように活かされるかも含む）等を2,000字程度で記載すること（パソコン出力を所定の用紙に貼付してもよい）。なお、記載した経歴・活動の概要に関する説明資料・証明資料を合わせて提出すること。
	④	受験票はがき	所定のもの（別途お取り寄せ必要の入試出願案内封筒に同封）に氏名・住所を記入し、はがき用切手（85円切手）を貼付すること。
	⑤	卒業（卒業見込）証明書	ただし、出願資格⑧～⑪での出願の場合は、出願資格認定書の提出とする（事前に出願資格審査を受けた者のみ）。 ※出願資格（5～6ページ）を参照のこと
⑥	〈L日程①②入学試験受験者のみ〉 法曹コース(連携法曹基礎課程)修了見込証明書	【GLP一貫型特別入学試験】 本学法学部の法曹コース修了見込みの者は、本学法学部事務室発行の修了見込証明書を出願すること。 【GLP・法曹コース開放型特別入学試験】 本学法学部の法曹コース修了見込みの者は、本学法学部事務室発行の修了見込証明書を出願すること。本学以外の法曹コース修了見込みの者は、出身大学発行の修了見込証明書を出願すること。なお、出身大学が法曹コース修了見込証明書を発行していない場合には、本法科大学院HPの出願書類より「法曹コース修了見込証明書〈書式〉」をダウンロードし、〈記入例〉を参考に、出身大学・学部で発行を受けて提出すること。	
⑦	成績証明書	最終学歴のもの。ただし、大学院修了者については大学のもの。 GPA評価が行われている場合にはGPAが記載されているもの。	
任意提出書類	⑧	法学検定試験（アドバンスコース）	法学検定試験委員会が発行する成績通知書（法学検定試験）を提出のこと。
	⑨	各種資格証明書	例：医師、公認会計士、司法書士、税理士、弁理士、不動産鑑定士、1級建築士、薬剤師、公認ファイナンシャルプランナー等。なお、その他の資格についても参考資料として提出できる。
	⑩	外国語の能力を示す証明書	（ア）英語の能力については、英検・TOEFL（公式スコア〈Official Score Report〉）・TOEICの成績証明書とする。団体特別受験制度利用のTOEIC-IP、TOEFL-ITPは認められない。英検以外の証明書は、2025年1月1日以降に受験したもののみ有効とする。 （イ）その他の言語についても、2025年1月1日以降に受験したものを有効とする。検定試験の種類は問わない。
	⑪	国家試験等の結果を証する書面	司法試験予備試験、公認会計士試験、弁理士試験、税理士試験、司法書士試験、行政書士試験、国家公務員採用総合職試験および外務省専門職員採用試験（2023年度以降のもの）。なお、その他の試験の結果についても参考資料として提出できる。
	⑫	修士号・博士号の学位証明	学位を証する書面および学位論文の要旨（1,000字程度）。
	⑬	職業上・社会活動上の経歴、法学以外の学問の学修・研究活動、あるいは海外大学での学修・研究活動の概要に関する資料	左記事項に関する説明資料・証明資料。なお社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験については自己推薦書の添付書類として提出のこと（上記必要提出書類③参照のこと）。

L日程①とL日程②を同時に出願される方、および、A日程・B日程で併願を希望される方は、次ページ⑩に従い書類を準備してください。

10 出願上の注意点

- L日程①とL日程②を同時に出願する場合、またA・B日程試験で複数の試験を併願する場合には、前記「8. 提出書類」を試験区分（コース）ごとに提出してください。その場合、(1)GLP一貫型特別入学試験、(2)GLP・法曹コース開放型特別入学試験、(3)法学未修者入学試験、(4)社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験、(5)法学既修者入学試験の順に上から重ねてください（ただし、受験票はがきおよび合否通知用封筒については、各日程においてそれぞれ1通提出していただければ結構です）。
- 出願書類に不備のあるものは受付できません。
- 締切り後は、いかなる理由があっても受け付けません。
- 一度提出した書類および検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

提出書類についての注意事項

偽造した書類や事実と反する内容を記載した書類を提出した場合には、不合格になるか入学取消しになります。

11 合格発表

L 日程① 2026年7月8日(水)

L 日程② 2026年7月22日(水)

A 日程 2026年9月24日(木)

B 日程 2027年2月16日(火)

※各日程ともに合格発表の時間は午前10時です。

受験者全員に合否の通知書を送付します。また、合否照会システム（発表日より3日間）でも発表を行います。これは補助的な通知手段とし、正式な発表はあくまで上記によるものとします。

※詳細は「インターネットによる合否照会システム」（23ページ）を参照。

※操作方法や受験番号等に関する問合せには応じられません。

受験生本人以外の方が合否照会システムを利用する場合は、必要事項をあらかじめ本人にご確認ください。

※本システムの「誤操作」や「見間違い」等を理由とした、手続期間終了後の手続の延期は一切認めません。

12 追加合格

- (1) 募集人員に欠員が生じた場合には、追加で合格を認めることがあります。
- (2) 追加合格者には、「合格通知書」等の書類を送付します。
- (3) 追加合格の通知は、第1次入学手続締切終了後となります。
- (4) 入学を希望する者は、「入学手続要項」に従って入学手続を行ってください。
- (5) 追加合格については、学内の掲示やホームページでの発表はしません。また、電話での問い合わせにも一切応じません。

13 入学手続

入学手続方法の詳細については、合格者に送付する「2027年度入学手続要項」に掲載しますので、ここでは概略のみを説明します。

• L 日程①②試験・A 日程試験

第1次入学手続

- (1) 入学手続は「第1次入学手続」と「第2次入学手続」に分かれていますが、両方を行うことにより完了となります。第2次入学手続は、第1次入学手続を終了した者に限り行うことができます。
- (2) 合格者には、合格発表後ただちに前記合格通知書類とともに、「入学金納付書（経理課より別途送付）」「入学手続要項」等の第1次入学手続書類を送付します。
- (3) 合格者は、入学手続期間内に入学金を振り込む等所定の手続を行ってください。期間内に入学金が振り込まれない場合は合格が取り消されます。

第1次入学手続期間

L 日程① 2026年7月15日（水）～7月24日（金）

L 日程② 2026年7月29日（水）～8月7日（金）

A 日程 2026年9月30日（水）～10月16日（金）

第2次入学手続

- (1) 第1次入学手続完了者に対して、「学費振込依頼書（経理課より別途送付）」「学生証作成台紙」「入学式・オリエンテーション日程」等の書類を送付します（2月末）ので、所定の手続に従って第2次入学手続を行ってください（3月上旬）。
- (2) 第2次入学手続では、学生証用の写真、入学する際の保証人の署名捺印が必要となりますので、事前に準備しておくことと速やかな手続が可能となります。

• B 日程試験

入学手続

- (1) 合格者には、合格発表後ただちに前記合格通知書類とともに、「入学金納付書・学費振込依頼書（経理課より別途送付）」「学生証作成台紙」「入学式・オリエンテーション日程」等の書類を送付しますので、所定の手続に従って入学手続を行ってください。

※第1次と第2次に入学手続を分けていないので、ご注意ください。

入学手続期間

2027年2月24日（水）～3月3日（水）

- (2) 入学手続では、学生証用の写真、入学する際の保証人の署名捺印が必要となりますので、事前に準備しておくことと速やかな手続が可能となります。

14 学費等納付金

学 費	入学金(初年度のみ)	20万円*
	授業料	128万円

※入学金については、本学学部卒業者（通信教育部も含む）、創価女子短期大学卒業者または本学大学院もしくは別科修了者は半額（10万円）とします。

◆初年度納付金

• L 日程①②試験・A 日程試験

第1次入学手続期間内に入学金を納付し、第2次入学手続期間内に入学金を除く学費等の諸納付金を納めてください（2027年3月上旬の予定）。なお、納められた入学金は入学を辞退しても返還されませんのでご注意ください。

• B 日程試験

入学手続期間内に入学金および学費等の諸納付金を納めてください。なお、納められた入学金は入学を辞退しても返還されませんのでご注意ください。

◆2年目以降の納付金

2年目以降の授業料は原則として初年度納付した額と同じ額になる予定ですが、国庫補助金（私立大学等経常費補助金）の動向により、若干の改定（増額も含め）をする可能性があります。

※上記の学費等納付金についての情報は2026年5月時点のものです。今後変更が生じた場合は、「入学手続要項」やホームページなどで、随時お知らせします。

15 奨学金

1. 給付奨学金

	名 称	金 額	期 間	対 象	選考基準
①	創価大学法科大学院 牧口記念教育基金会 奨学金Ⅰ種	100万円（年額）	修業年限 ※1	各学年 最大9名	L 日程「GLP一貫型特別入学試験」、 A 日程「社会人・非法学部・海外大 学出身者特別入学試験」およびそ 他の入学試験の成績優秀者
②	創価大学法科大学院 牧口記念教育基金会 奨学金Ⅱ種	50万円（年額）	修業年限 ※1	各学年 最大5名	L 日程「GLP・法曹コース開放型特 別入学試験」、A 日程およびその 他の入学試験の成績優秀者
③	創価大学法科大学院 入学時奨励金	50万円（年額）	入学時 のみ	入学者 最大5名	L 日程「GLP・法曹コース開放型特 別入学試験」、A 日程およびその 他の入学試験の成績優秀者
④	創価大学法科大学院 給付奨学金	30万円（半期）	各学期毎	各学年 6名	入学後の各学期の成績優秀者（①、 ②の学生は除く）
⑤	創価大学創友会 法科大学院スカラシップ	15万円（半期）	各学期毎	各学年 5名	入学後の各学期の成績優秀者（①の学 生は除く）

※1 年度末に学業状況等を基準に、給付継続に関する審査があります。

L 日程「GLP一貫型特別入学試験」、A 日程「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」およびその他の入学試験の合格者のうち成績優秀者に、上記給付奨学金の表①記載の「創価大学法科大学院牧口記念教育基金会奨学金Ⅰ種（100万円）」を給付します。ただし、給付人数は最大9名となるため、入学試験の成績によっては給付しない場合があります。

L日程「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」およびA日程およびその他の入学試験の合格者のうち成績優秀者に、前記給付奨学金の表②記載の「創価大学法科大学院牧口記念教育基金会奨学金Ⅱ種（50万円）、同③記載の「創価大学法科大学院入学時奨励金（50万円 ※入学時のみ）」を給付します。ただし、給付人数は最大5名となるため、入学試験の成績によっては給付しない場合があります。

上記の枠で奨学金給付対象がおらず枠を満たさない場合、L日程・A日程・B日程入学試験の合格者の中から、入試成績等を総合的に考慮して、奨学金を給付することがあります。そのときは、改めて受給資格取得者に通知します。

入学後の各学期の成績優秀者に、前記給付奨学金の表④記載の「創価大学法科大学院給付奨学金（30万円 ※半期）」、同⑤記載の「創価大学創友会法科大学院スカラシップ（半期15万円 ※半期）」を給付します。

2. 貸与奨学金

日本学生支援機構奨学金

貸与奨学金の種類		利子	貸与の方法		貸与期間	選考基準
第一種	第一種奨学金	無利子	毎月の奨学金	5万円・8万8千円	修業年限 法学既修者：2年間 法学未修者：3年間	人物、健康 学力、家計
	授業料 後払い制度※1		授業料支援金	支援対象授業料(授業料相当額)を本人へ振込。 ※別途、保証料相当額も貸与額に含まれます。		
			生活費奨学金 (毎月の奨学金)	2万円・4万円		
第二種		有利子※2	5万円・8万円・10万円・13万円・15万円・19万円・22万円の中から希望する額を選択。			

注意 これまでに他の大学院で日本育英会および日本学生支援機構の第一種奨学金を借りたことがある者は、申し込むことができない場合や借りられる期間（貸与終期）が制限される場合があります。

日本学生支援機構奨学金の詳細は、ホームページ (<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/tebiki/in.html>) をご覧ください。

※1 日本学生支援機構が、大学院課程の授業料を「授業料支援金」として立て替え、学生は大学院終了時に所得に応じて変換する制度です。この「授業料支援金」には上限額があります。併せて生活費等の支援として別途貸与奨学金（最大で月に4万円・無利子）が受けられます。

※2 「19万円」もしくは「22万円」を選択した場合、15万円を超過した分に対して利率が0.2%上乗せになります。

本学では、給付・貸与奨学金の受給金額に上限（年間300万円以内）を設定しています。この上限は、皆様が安心して学生生活を送りつつ勉学に専念できるよう、また修了後の無理のない返還を考慮したものです。

〈参考：教育ローン〉

日本政策金融公庫

入学・在学時にかかる諸費用を対象に保護者に融資する制度です。

学生1人につき350万円以内。

教育ローンの概要は、日本政策金融公庫ホームページ

(<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>) をご覧ください。

16 学生寮

法科大学院生の学修および生活支援の一環として、個室の学生寮（①正義寮、②創英寮）を設置しています（①正義寮と②創英寮はワンルーム型）。

合格者に対して改めて学生寮の手続きについてご案内しますので、ここでは概略のみを説明します。

(1) 入寮手続

入寮を希望する者には、ご案内する該当ホームページより入寮のエントリーをしていただきます。ただし、応募数によっては選考を行います。

(2) 寮 費

①正義寮（構外）

年額 52万円・49万6,000円（2タイプ）

②創英寮（構外）

年額 53万8,000円

※上記の法科大学院学生寮についての情報は2026年5月時点のものです。

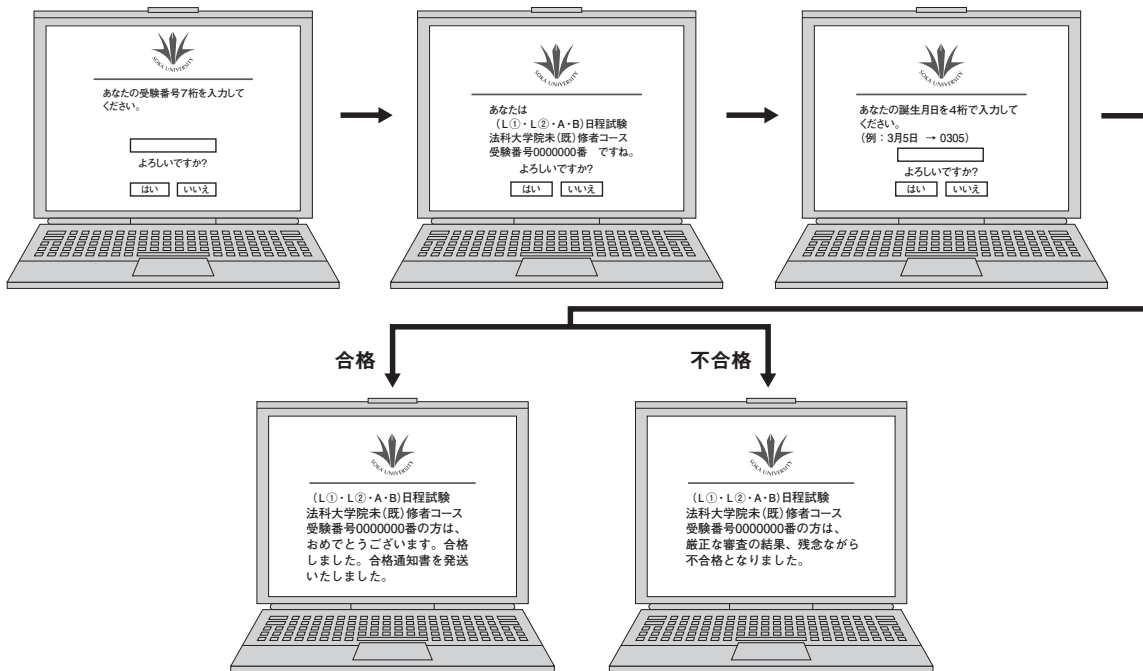
2027年度以降変更が生じる可能性があります。その場合、ホームページなどで、随時お知らせします。

インターネットによる合否照会システム

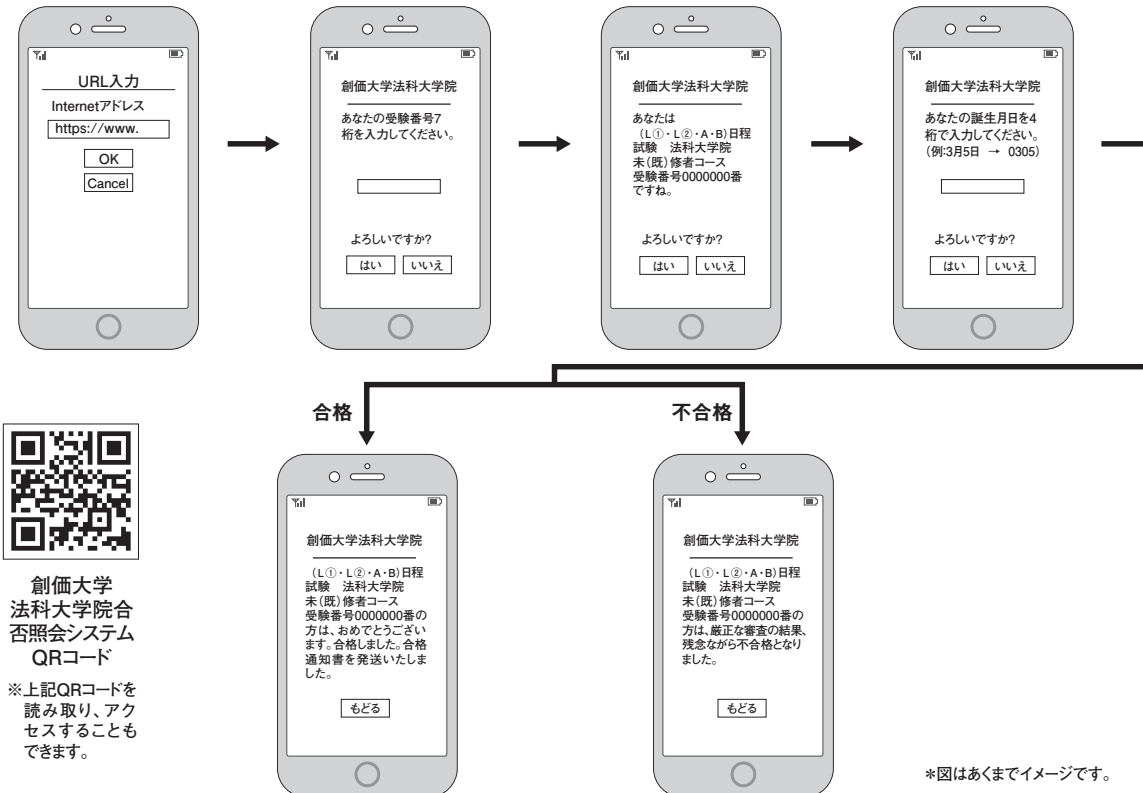
<https://www.gouhi.com/soka-ls/> (パソコン・スマートフォン共通)

本システムは、インターネットに接続したパソコン、スマートフォンで、合否を確認することができます。

[パソコン]



[スマートフォン]



創価大学
法科大学院合
否照会システム
QRコード

※上記QRコードを
読み取り、アク
セスすること
ができます。

*図はあくまでイメージです。